

事業所名		音のあそび場 ふるーと＃（シャープ）				支援プログラム		作成日		7	年	1	月	25	日
法人（事業所）理念		経営理念：社会自立へ向けて音楽等の様々な経験を積み、将来の選択肢を増やしていく為のプログラムを考え支援を行います													
支援方針		歌やダンス、ピアノや楽器を使って音を楽しみながら子供たちの「強み」や個性を発見して伸ばしていきます。 音楽を通じ、豊かな表現力を身に付け苦手や不得意を少しずつ克服しながら、集団活動等における「ソーシャルスキル」向上をめざします。													
営業時間①		平日	10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無		あり	なし	
営業時間②		学校休校日	9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無		あり	なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	○生活リズムの形成…特性にあわせた個別のスケジュール表を掲示して視覚情報により見通しを分かりやすくアプローチして「自分で出来た」の経験値習得を図る。 ○健康状態の把握…検温等の常なるチェックと発達の過程・特性等に配慮し、細かな観察を行い、体調に変化がある場合には適切な対処を行う。（保護者への連絡等）													
	運動・感覚	○姿勢と運動技能の向上…トランポリン・公園あそび（ボール遊び・鬼ごっこ・縄跳び等）・ダンスにより体幹を鍛え運動技能の向上を図る。 ○和太鼓活動…粗大運動による姿勢保持や課題楽曲習得による「協調性」「自己表現力」「積極性」「機能回復強化」の向上。 ○工作・個別課題の取り組み…手芸や絵画作成による指先の感覚や、技術活動による専門的技術の獲得を図る。													
	認知・行動	○認知機能の発達を促すために音楽（ピアノや楽器）を使って体を動かしながら感覚を十分活用出来るプログラムを取り入れる。 ○ブロックやパズルを使って創作を行い、形や色の違い等の習得、独創性の獲得を図る。 ○集団活動でのコミュニケーションの困難性から生ずる行動障害に対して、環境を調整して適切行動の獲得に向けた適切な支援を行う。													
	言語コミュニケーション	○音楽療法…音楽療法士によりピアノ・楽器を使って歌やリズム遊び等を楽しみながら、他者とのコミュニケーション手段の選択を促す支援プログラムの立案。 ○デジタル操作…PC、タブレット操作における楽曲制作での独創性獲得や、SST活動での小集団でのコミュニケーション向上の療育を実施。													
	人間関係社会性	○お買い物…ストア等への実践的なおやつのお買い物体験におけるお金の計算やルールの習得。 ○お出かけ…外出時の交通ルールや事業所外における他施設でのルールの理解、集団活動（行動）の自発的な参加や一人遊びから協同遊びへの社会性の発達を図る。													
家族支援		○半年に1回対面での保護者面談 ○相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整							移行支援		○個々の特性に配慮しながら具体的な移行先を想定し、家族への情報提供や、児童クラブを含めた移行先との支援方針や支援内容の共有、伝達を行う				
地域支援・地域連携		○医療機関や児童相談所等の専門機関との連携							職員の質の向上		○自治体や支援関係団体が実施する研修等へ参加 ○事業所においての定例会議等実施や研修等への受講				
主な行事等		○和太鼓活動 ○トランポリン ○外出（レクリエーション活動・買い物等） ○音楽発表会（年1回程度） ○季節のイベント（クリスマス会・夏祭り等） ○収穫体験（いも堀）													